

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市北老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|  |
|--|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時</p> <p>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</p> <p>【管理業務】<br/>(1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>(2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>(3) 消防設備定期点検<br/>(4) 開所・閉所時の安全点検</p> <p>【サービス向上のための取組】<br/>(1) 職員資質向上のための研修<br/>(2) 老人福祉センター利用案内の作成<br/>(3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>(4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>(5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有</p> <p>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|--|

## 2 事業実施内容

|  |
|--|
| <p>(1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数2回、延参加者数37名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成</p> <p>(2) 介護予防（実施回数246回、延参加者数4,533名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援</p> <p>(3) 高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（33同好会、実施回数601回、延参加者数7,023名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数5,082名）<br/>北区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数345名）</p> <p>(4) 教養講座（実施回数27回、延参加者数367名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応</p> <p>(5) 地域交流事業 未実施</p> <p>(6) 各種相談（相談件数66件）</p> <p>(7) 一般娯楽（実施回数606回、延参加者数5,953名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施</p> <p>(8) 各種広報紙の発行（約1,500部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知</p> <p>(9) その他<br/>・合築施設合同消防避難訓練<br/>・実習生の受入れ（近畿高等看護専門学校）</p> |
|--|

## 3 サービス提供状況

|   |
|---|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、契約職員1名<br/>臨時職員2名（職員の代替職員として） 常時2名体制</p> |
|---|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

23,850 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |           |
|-----|-----------|
| 委託料 | 9,761,426 |
| その他 | 44,501    |
| 収入計 | 9,805,927 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |           |
|-------|-----------|
| 人件費   | 7,275,882 |
| 事業費   | 1,667,489 |
| 委託費   | 156,708   |
| 小額修繕費 | 29,920    |
| その他   |           |
| 支出計   | 9,129,999 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

参加者の感想を把握し、つながるサロンをよりよい事業にしていけるため、講座終了時にアンケートを行った。

(1) つながるサロン「悪徳商法の手口と対処法」 & 「成年後見講座」

【方法】参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】4問、【回答数】6

(2) つながるサロン「食事バランスって、どうゆうこと？」

【方法】参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】4問、【回答数】11

(3) つながるサロン「フレイル予防の秘訣！」

【方法】参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】4問、【回答数】16

(4) つながるサロン「オンライン健康講座」

【方法】参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】4問、【回答数】7

(5) つながるサロン「高齢サポートってどんなところ？」

【方法】参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】4問、【回答数】7

### (2) 利用者満足度把握の結果

(1) つながるサロン「悪徳商法の手口と対処法」 & 「成年後見講座」 アンケート結果

講座の内容がとてもよかった・よかった 86%

講座の内容がやや不満・不満 14%

(2) つながるサロン「食事バランスって、どうゆうこと？」 アンケート結果

講座の内容がとてもよかった・よかった 100%

講座の内容がやや不満・不満 0%

(3) つながるサロン「フレイル予防の秘訣！」 アンケート結果

講座の内容がとてもよかった・よかった 87%

講座の内容はふつう 13%

講座の内容がやや不満・不満 0%

(4) つながるサロン「オンライン健康講座」 アンケート結果

講座の内容がとてもよかった・よかった 100%

講座の内容がやや不満・不満 0%

(5) つながるサロン「高齢サポートってどんなところ？」 アンケート結果

講座の内容がとてもよかった・よかった 84%

講座の内容はふつう 17%

不満 0%

### (3) 意見等への主な対応状況

(1)～(3)

アンケート結果は北区地域介護予防推進センター、北区社会福祉協議会、鳳徳包括支援センターと共有し次年度の協働事業に活かしていく。

(4) 資料を講座終了時に配布した講座については最初に欲しかったとのご意見が多数寄せられた。講師にはお話に集中して欲しいという思いがあったが、今後は開始時に配布する方向で検討していただく。

(5) 「健康」や「脳トレ」をテーマに講座を開催して欲しいとのご意見が多かった。次年度もニーズに沿った健康講座を開催していきたい。

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、いきいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、北区地域介護予防推進センターと連携した「やわらか頭教室」や「インターバル速歩」を実施。その他、講師によるマツトで「ピラティス」、「健康ひろばパート1・2」を実施した。教養講座では、北区社会福祉協議会や関係機関との連携により毎月開催している「つながるサロン」の一環で「社協ってなんなん!？」「高齢サポートってどんなところ？」等のテーマで講座を開催し、それぞれの役割や相談窓口について分かりやすく説明を行った。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市上京老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|  |
|--|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時</p> <p>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</p> <p>【管理業務】<br/>(1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>(2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>(3) 消防設備定期点検<br/>(4) 開所・閉所時の安全点検</p> <p>【サービス向上のための取組】<br/>(1) 職員資質向上のための研修<br/>(2) 老人福祉センター利用案内の作成<br/>(3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>(4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>(5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有</p> <p>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|--|

## 2 事業実施内容

|  |
|--|
| <p>(1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数16名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成</p> <p>(2) 介護予防（実施回数671回、延参加者数12,785名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援</p> <p>(3) 高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（31同好会、実施回数615回、延参加者数8,050名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数646名）<br/>上京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数764名）</p> <p>(4) 教養講座（実施回数37回、延参加者数786名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応</p> <p>(5) 地域交流事業<br/>共同事業（実施回数1回、延参加者数14名）</p> <p>(6) 生きいきサロン（実施回数35回、延参加者数458名）<br/>虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。</p> <p>(7) 各種相談（相談件数20件）</p> <p>(8) 一般娯楽（実施回数247回、延参加者数3,785名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施</p> <p>(9) 各種広報紙の発行（約2,300部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知</p> <p>(10) その他<br/>・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、京都保健衛生専門学校14名、京都中央看護保健大学校6名、府立医科大学49名）<br/>・上京区エコまちステーション場所提供<br/>・同志社大学キャンドルライト制作協力</p> |
|--|

## 3 サービス提供状況

|  |
|--|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員2名 計4名</p> |
|--|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

30,962 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 294日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 12,997,752 |
| その他 | 162,252    |
| 収入計 | 13,160,004 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 10,150,116 |
| 事業費   | 3,083,093  |
| 委託費   | 418,219    |
| 小額修繕費 | 139,700    |
| その他   |            |
| 支出計   | 13,791,128 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

- (1) 「将来に向けての備えを考える講座～遺言と相続について考えよう～」  
参加者の年齢・居住区・参加理由・感想などを知るために行った。

【方法】 選択方式と自由記述で実施。

【設問数】 6問

【回答数】 16

- (2) 「スポーツボイス講座」

参加者の年齢・居住区・感想・要望などを知るために行った。

【方法】 選択方式と自由記述で実施。

【設問数】 5問

【回答数】 19

### (2) 利用者満足度把握の結果

- (1) 「将来に向けての備えを考える講座」の結果

とても参考になった50%、少し参考になった38%、内容が物足りなかった6%、  
難しく理解できなかった12%

※「いずれかに○」という設問だったが、2箇所にも○をつけている方がおられたため、  
合計が100%を超えています。

【自由記述から抜粋】

- ・そろそろ考えなくてはならないと思いました。ありがとうございました。
- ・少しずつ勉強していきたいです。
- ・今回の講義を参考に考えていきたいです。
- ・先生がいらっしゃるのに質問できないのは残念だった。
- ・いろいろな例についての話があればよかった。
- ・トイレ休憩が欲しかった。

- (2) 「スポーツボイス講座」

参加してすごく良かった45%、良かった45%、普通5%、回答なし5%

また参加したい はい85%、いいえ0%、どちらでもない10%、回答なし5%

【自由記述から抜粋】

- ・難易度がとても高くてついていけなかった。
- ・むずかしくて1回だけではダメ、次もお願いします。
- ・とても良かったです。ありがとうございました。
- ・結構しんどいですね。でも楽しかったです。
- ・体が軽くなったような気持ちになりました。
- ・肩とか軽くなった。声も出る。

### (3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果を次年度の事業の参考とする。

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、「すこやか体操（毎日2回）」、「いきいき百歳体操」、「大人のぬり絵」を月4～6回職員が実施。上京区地域介護予防推進センターと連携した「ひだまり広場体操」を火～金曜に実施している。その他、関係機関と連携して「認知症とともに」をテーマに、認知症の正しい理解の普及啓発として認知症サポーター養成講座を開催した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市左京老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|   |
|---|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時<br/>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）<br/>【管理業務】<br/>（1）窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>（2）施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>（3）消防設備定期点検<br/>（4）開所・閉所時の安全点検<br/>【サービス向上のための取組】<br/>（1）職員資質向上のための研修<br/>（2）老人福祉センター利用案内の作成<br/>（3）施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>（4）苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>（5）安全確保のための事故報告書等の事例共有<br/>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|---|

## 2 事業実施内容

|   |
|---|
| <p>（1）高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数17名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成<br/>（2）介護予防（実施回数425回、延参加者数7,183名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援<br/>（3）高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（39同好会、実施回数1,344回、延参加者数23,432名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数806名）<br/>左京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数394名）<br/>（4）教養講座（実施回数36回、延参加者数833名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応<br/>（5）地域交流事業<br/>多世代交流（実施回数8回、延参加者数95名）<br/>（6）生きいきサロン（実施回数45回、延参加者数760名）<br/>虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として<br/>実施し、レクリエーション等を行う。<br/>（7）各種相談（相談件数48件）<br/>（8）一般娯楽（実施回数75回、延参加者数1,570名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施<br/>（9）各種広報紙の発行（約1,600部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知<br/>（10）その他<br/>・合築施設合同消防訓練<br/>・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、佛教大学看護学科20名、<br/>京都中央看護保健大学校看護保健学科8名）</p> |
|---|

## 3 サービス提供状況

|  |
|--|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員1名 計3名</p> |
|--|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 施設利用者数 (延べ人数)

37,357 人

(2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況 (単位 : 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 29,508,114 |
| その他 | 240,248    |
| 収入計 | 29,748,362 |

イ 令和4年度支出状況 (単位 : 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 12,363,578 |
| 事業費   | 3,103,214  |
| 委託費   | 12,494,058 |
| 小額修繕費 | 102,850    |
| その他   |            |
| 支出計   | 28,063,700 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

(1) 地域・多世代交流事業「工作教室」のアンケート  
参加の理由及び子ども達との交流事業に参加したいか等について把握し、今後の事業の企画に活かすためアンケートを行った。  
【方法】「工作教室」に参加した当センター利用者に対し、選択式と自由記述で実施  
【設問数】7問、【回答数】14

(2) 利用者満足度把握の結果

(1) 地域・多世代交流事業「工作教室」のアンケートの結果  
【参加しようと思った理由】  
面白そう76.9%、子ども達と一緒に作りたかった7.6%、作品(工作)に興味があった15.3%  
【今回のような子ども達と一緒にできる講座に参加したいか】  
参加したい100%、参加したくない0%

(3) 意見等への主な対応状況

(1) アンケート結果は、共催者である高野児童館、京都工織大学生と共有し、今後の事業企画の参考とする。

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、公園体操ボランティアによる「公園体操in左京老セン」、左京区地域介護予防推進センターと連携した「健康和太鼓講座」、「らくらくエアロビクス」、「転倒予防体操教室」、「コズニサイズ」等を実施した。教養講座では、職員による「季節の折り紙講座」を月1回開催。また、左京区社会福祉協議会との連携により、スマホ同好会会員がボランティアで指導する「スマホでつながるサロン」、おもちゃ修理ボランティアの活動「左京トイクリニック」の活動支援を行った。地域交流事業では、児童館との将棋交流や、京都工芸繊維大学学生との共催事業として、他世代が交流する工作教室を開催した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市中京老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数2回、延参加者数19名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数373回、延参加者数4,838名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（52同好会、実施回数550回、延参加者数8,407名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数89名）  
中京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数64名）
- (4) 教養講座（実施回数52回、延参加者数617名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業（実施回数2回、延参加者数65名）
- (6) 各種相談（相談件数11件）
- (7) 一般娯楽（実施回数413回、延参加者数6,941名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (8) 各種広報紙の発行（約1,100部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (9) その他
  - ・防火講座、防災訓練、シェイクアウト訓練の実施
  - ・就労チャレンジ体験の実施と面談
  - ・実習生の受入れ（京都保健衛生専門学校7名、近畿高等看護専門学校2名、看護実習生1名）

## 3 サービス提供状況

施設管理兼事業担当者

センター所長1名、契約職員1名

臨時職員2名（職員の代替職員として） 常時2名体制

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 施設利用者数 (延べ人数)

26,233 人

(2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況 (単位 : 円)

|     |           |
|-----|-----------|
| 委託料 | 9,769,807 |
| その他 | 149,841   |
| 収入計 | 9,919,648 |

イ 令和4年度支出状況 (単位 : 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 7,545,982  |
| 事業費   | 2,069,914  |
| 委託費   | 397,819    |
| 小額修繕費 | 15,000     |
| その他   |            |
| 支出計   | 10,028,715 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

参加者の感想や要望を知り、内容の充実を図るため、下記のアンケートを行った。

【方法】参加者に対し、選択方式と自由記述

|                           |           |          |
|---------------------------|-----------|----------|
| (1) 中京警察のお話               | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 16 |
| (2) 手作り講座「アームカバー」         | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 10 |
| (3) 免疫力アップ                | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 19 |
| (4) プチ健康チェック              | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 23 |
| (5) スマホ使い方勉強会             | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 14 |
| (6) 健康講座                  | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 20 |
| (7) 椅子ヨガ                  | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 20 |
| (8) 二条城のお話                | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 20 |
| (9) 多世代交流「BowWowわんわん笑顔の会」 | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 8  |
| (10) 三条商店街のお話             | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 23 |
| (11) 健康スタンプラリー            | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 18 |
| (12) ストレッチと健康セミナー         | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 16 |
| (13) 防災・救命講座              | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 14 |
| (14) シニアのための片付け教室         | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 17 |
| (15) ちぎり絵講座               | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 8  |
| (16) ミニミニ講座「支え合い活動について」   | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 15 |
| (17) 元気ワクワク健康教室           | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 20 |
| (18) 火災予防啓発「ハンド&ネイルケア」    | 【設問数】 4問、 | 【回答数】 18 |
| (19) スポーツボイス講座            | 【設問数】 6問、 | 【回答数】 20 |

## (2) 利用者満足度把握の結果

### (1)～(18)の設問

①講座を何でお知りになりましたか

②内容はいかがでしたか

③今後も講座に参加したいか

#### (1) 中京警察のお話アンケート結果

①広報紙50%、ポスター43.8%、知人6.3%②楽しかった43.8%、参考になった56.3%③そう思う100%

#### (2) 手作り講座「アームカバー」のアンケート結果

①広報紙50%、ポスター20%、知人30%②楽しかった50%、参考になった50%③そう思う90%、どちらかというと思う10%

#### (3) 免疫カアップアンケート結果

①広報紙42.1%、ポスター47.4%、知人5.3%、ライン5.2%②参考になった84.2% 無回答15.8%③そう思う84.2% どちらかというと思う10.5% 無回答5.3%

#### (4) プチ健康チェックアンケート結果

①広報紙30.4%、ポスター47.8%、知人4.3%、ライン13%②楽しかった8.7%、参考になった87%、その他4.3%③そう思う56.5%、どちらかというと思う4.3%、どちらかというと思わない4.3%

#### (5) スマホ使い方勉強会アンケート結果

①広報紙42.9%、ポスター42.9%、知人7.1%、ライン7.1%②楽しかった21.4%、参考になった71.4%、少し難しかった7.1%③そう思う92.9%、どちらかというと思う7.1%

#### (6) 健康講座アンケート結果

①広報紙25%、ポスター35%、知人5%、ライン15%、その他15%②楽しかった45%、参考になった50%、無回答5%③そう思う85%、どちらかというと思う5%、無回答10%

#### (7) 椅子ヨガアンケート結果

①広報紙40%、ポスター45%、知人5%、ライン5%、その他5%②楽しかった43.8%、参考になった56.3%

③そう思う95%、どちらかというと思う5%

#### (8) 二条城のお話アンケート結果

①広報紙50%、ポスター45%、ライン5%②楽しかった40%、参考になった55%、その他5%③そう思う75%、どちらかというと思う5%

#### (9) 多世代交流「BowWowわんわん笑顔」アンケート結果

①広報紙50%、ポスター25%、その他25%②楽しかった75%、参考になった25%③そう思う75%、どちらかというと思う25%

#### (10) 三条商店街のお話アンケート結果

①広報紙39.1%、ポスター52.2%、ライン8.7%②楽しかった34.8%、参考になった60.9%、少し難しかった4.3%③そう思う91.3%、どちらかというと思う8.7%

#### (11) 健康スタンプラリーアンケート結果

①広報紙27.8%、ポスター72.2%②楽しかった88.9%、参考になった5.6%、少し難しかった5.6%③そう思う100%

#### (12) ストレッチと健康セミナーアンケート結果

①広報紙31.3%、ポスター62.5%、ライン6.3%②楽しかった31.3%、参考になった68.8%③そう思う100%

#### (13) 防災・救命講座アンケート結果

①広報紙35.7%、ポスター64.3%、ライン7.1%②楽しかった7.1%、参考になった92.9%③そう思う100%

#### (14) シニアのための片づけ教室アンケート結果

①広報紙47.1%、ポスター52.9%、ライン11.8%②楽しかった17.6%、参考になった82.4%③そう思う94.1%、どちらかというと思う5.9%

#### (15) ちぎり絵講座アンケート結果

①広報紙50%、ポスター37.5%、その他12.5%②楽しかった100%③そう思う100%

#### (16) ミニミニ講座「支え合い活動について」アンケート結果

①広報紙33.3%、ポスター40%、その他26.7%②参考になった93.3%、無回答6.7%③そう思う46.7%、どちらかというと思う46.7%、無回答6.7%

#### (17) 元気ワクワク健康講座アンケート結果

①広報紙45%、ポスター50%、知人5%、ライン15%②楽しかった25%、参考になった75%③そう思う100%

#### (18) 火災予防啓発「ハンド&ネイルケア」アンケート結果

①広報紙27.8%ポスター61.1% ライン11.1%②楽しかった55.6%、参考になった44.4%③そう思う94.4%、どちらかというと思う5.6%

#### (19) スポーツボイス講座アンケート結果

性別 男性0% 女性100%

年齢 70歳代 45% 80歳代 55%

居住区 中京65% 右京5% 西京5% 山科5% 南5% 下京5% 北5% 東山5%

参加して良かったか すごく良かった70% 良かった30%

また参加したいですか はい90% どちらでもない5% 無回答5%

(3) 意見等への主な対応状況

(1) アンケート結果を共有し、今後の事業において、内容充実に活かす。

7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、中京区地域介護予防推進センターと連携した「介護予防運動①②らくらく・とくとく体操」、「みんなの脳トレ」等を実施。その他、ボランティアによる「公園体操」や、その他講師による「ストレッチ」、「健康セミナー」、「免疫力アップ講座」等を実施した。教養講座では、地域の特性を活かした内容で開催した「二条城のお話」や「京都三条会商店街」のお話が好評であった。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市東山老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|   |
|---|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時<br/>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）<br/>【管理業務】<br/>（1）窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>（2）施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>（3）消防設備定期点検<br/>（4）開所・閉所時の安全点検<br/>【サービス向上のための取組】<br/>（1）職員資質向上のための研修<br/>（2）老人福祉センター利用案内の作成<br/>（3）施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>（4）苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>（5）安全確保のための事故報告書等の事例共有<br/>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|---|

## 2 事業実施内容

|  |
|--|
| <p>（1）高齢者支え合い活動入門講座（実施回数2回、延参加者数29名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成<br/>（2）介護予防（実施回数212回、延参加者数2,532名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援<br/>（3）高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（24同好会、実施回数664回、延参加者数6,860名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数119名）<br/>東山区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数1,315名）<br/>（4）教養講座（実施回数30回、延参加者数455名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応<br/>（5）地域交流事業<br/>多世代交流（実施回数1回、延参加者数9名）<br/>（6）各種相談（相談件数20件）<br/>（7）一般娯楽（実施回数1,016回、延参加者数6,384名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施<br/>（8）各種広報紙の発行（約500部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知<br/>（9）その他<br/>消防計画に基づき、消防活動・防災活動・防災設備点検を実施</p> |
|--|

## 3 サービス提供状況

|   |
|---|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、契約職員1名<br/>臨時職員2名（職員の代替職員として） 常時2名体制</p> |
|---|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

19,613 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |           |
|-----|-----------|
| 委託料 | 7,839,171 |
| その他 | 116,941   |
| 収入計 | 7,956,112 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |           |
|-------|-----------|
| 人件費   | 7,373,514 |
| 事業費   | 872,446   |
| 委託費   | 190,320   |
| 小額修繕費 | 104,310   |
| その他   |           |
| 支出計   | 8,540,590 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度中の満足度調査は未実施

### (2) 利用者満足度把握の結果

### (3) 意見等への主な対応状況

## 7 評価(指定管理者自己評価)

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、東山区地域介護予防推進センターと連携した「健康増進教室」、「健康増進男塾」等を実施。その他、講師による「元氣ワクワク健康教室セルフマッサージとツボ刺激」、「転ばぬ先の脚づくり」を実施した。教養講座では、「スマホを楽しむ会」や「折り紙を楽しむ会」を毎月開催し、新規利用や区外の参加者増加につながった。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市山科老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数30名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数115回、延参加者数2,100名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（37同好会、実施回数822回、延参加者数8,658名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数0名）  
山科区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数20名）
- (4) 教養講座（実施回数27回、延参加者数364名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業 未実施
- (6) 各種相談（相談件数6件）
- (7) 一般娯楽（実施回数399回、延参加者数4,800名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (8) 各種広報紙の発行（約750部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (9) その他
  - ・消防訓練（通報訓練、避難訓練、消火訓練）を実施
  - ・AED取扱方法等の一次救命措置の職員講習を実施

## 3 サービス提供状況

### 施設管理兼事業担当者

センター所長1名、契約職員1名

臨時職員2名（職員の代替職員として） 常時2名体制

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 施設利用者数 (延べ人数)

17,306 人

(2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |           |
|-----|-----------|
| 委託料 | 9,740,474 |
| その他 | 68,331    |
| 収入計 | 9,808,805 |

イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 7,903,590  |
| 事業費   | 1,859,847  |
| 委託費   | 212,050    |
| 小額修繕費 | 32,032     |
| その他   |            |
| 支出計   | 10,007,519 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度中の満足度調査は未実施

(2) 利用者満足度把握の結果

(3) 意見等への主な対応状況

## 7 評価(指定管理者自己評価)

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取り入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、山科区地域介護予防推進センターと連携した「デュアルタスク」、「からだメンテナンス体操」、「かるがるトレーニング」等を実施。その他、講師による「椅子に座ってするヨガ」、「音楽認知ケア講座」、教養講座では、積極的に部屋の空き枠を活用し「指編み講座」や「エコクラフト講座」等を実施した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市山科中央老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数28名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数183回、延参加者数2,977名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（34同好会、実施回数740回、延参加者数12,007名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数160名）  
山科区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数143名）
- (4) 教養講座（実施回数143回、延参加者数2,800名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業 未実施
- (6) 生きいきサロン（実施回数38回、延参加者数385名）  
虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。
- (7) 各種相談（相談件数1件）
- (8) 一般娯楽（実施回数156回、延参加者数2,732名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (9) 各種広報紙の発行（約1,200部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (10) その他  
・合築施設合同消防避難訓練  
・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、京都保健衛生専門学校13名、  
佛教大学31名）

## 3 サービス提供状況

施設管理兼事業担当者

センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員1名 計3名

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

21,698 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位 : 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 13,259,656 |
| その他 | 185,462    |
| 収入計 | 13,445,118 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位 : 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 10,056,655 |
| 事業費   | 2,924,336  |
| 委託費   | 706,975    |
| 小額修繕費 | 295,560    |
| その他   |            |
| 支出計   | 13,983,526 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

- (1) スポーツボイス講座アンケート  
参加者に対し、選択方式と自由記述で実施  
設問数5問 回答数19
- (2) 認知症サポーター養成講座アンケート  
参加者に対し、選択方式と自由記述で実施  
設問数3問 回答数19
- (3) じっくり学ぶ筋トレ講座アンケート  
参加者に対し、自由記述で実施  
設問数7 回答数18

### (2) 利用者満足度把握の結果

- (1) スポーツボイス講座について  
すごくよかった47.5% よかった47.5% 普通5% よくなかった0%  
また参加したい はい89.5% いいえ0% どちらでもない10.5%
- (2) 認知症サポーター養成講座について  
自由記述 (性別・年代・感想)  
アンケート実施20人 : 回答数19 無回答1 (内訳 女性12人 (60%) 男性8人 (40%))  
○認知症について詳しくお話下さり、知らないことも多く関わり方についてもよく理解出来ました。  
○これからも傾聴、見守りを継続したいです。  
○認知症への誤解がありました。テキストよく読みます。  
○二人の老母を見送り、思い出し何回も涙しました。今度は自分の番だと考えます。  
○夫婦で頑張って支えあいしたいと思います。  
○サポーターは不十分です。自信ありません。
- (3) じっくり学ぶ筋トレ講座について  
自由記述 (ご自分の体についてのアンケート)  
○いつまでも歩きたい。正しい筋肉の使い方、働きを学びたい  
○筋力が落ちて、体力がなくなると実感。体力を向上、老化を防ぐために参加した。  
○腹筋が弱いので腹筋の作り方や肩こりを和らげたい。姿勢も良くしたい。  
○体幹を鍛え、腰、下肢を中心に筋肉を付けたい。  
○ラジオ体操をしている。YOUTUBEでストレッチ動画も見ている。

### (3) 意見等への主な対応状況

- (1) スポーツボイス講座
  - ・好評だったため、次年度の開催を企画する
- (2) 認知症サポーター養成講座
  - ・認知症の正しい理解の普及啓発に努めるため、次年度も開催する
- (3) じっくり学ぶ筋トレ講座
  - ・好評のため、引き続き開講する（名称は変更）

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、山科区地域介護予防推進センターと連携した「わっはっは健康講座」や「体力アップ講座」等を実施した。その他講師による「じっくり学ぶ筋トレ講座」、「初級者ヨーガ講座」や、初心者向けの「囲碁講座」「将棋講座」「卓球講座」を開催。また、関係機関等との連携により、認知症への理解を深めることを目的とした「認知症サポーター養成講座」を山科老人福祉センターと共同事業として実施した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市下京老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数10名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数160回、延参加者数3,104名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（33同好会、実施回数617回、延参加者数8,712名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数0名）  
下京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者876名）
- (4) 教養講座（実施回数160回、延参加者数764名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業 未実施
- (6) 生きいきサロン（実施回数35回、延参加者数474名）  
虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。
- (7) 各種相談（相談件数17件）
- (8) 一般娯楽（実施回数222回、延参加者数2,354名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (9) 各種広報紙の発行（約1,000部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (10) その他
  - ・合築施設防火訓練
  - ・実習生の受入れ（佛教大学看護学科27名、京都中央看護保健大学校3名、近畿高等看護専門学校4名、社会福祉士養成校1名）
  - ・交通安全・詐欺防止の啓発

## 3 サービス提供状況

施設管理兼事業担当者

センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員1名 計3名

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

18,726 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位 : 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 12,892,991 |
| その他 | 114,522    |
| 収入計 | 13,007,513 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位 : 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 10,064,128 |
| 事業費   | 2,722,706  |
| 委託費   | 218,750    |
| 小額修繕費 | 293,505    |
| その他   |            |
| 支出計   | 13,299,089 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

- (1) 京都府警察ネット安心アドバイザーによる「スマホ安全教室」  
参加者に対し、選択方式で実施  
設問数3問 回答数14
- (2) スポーツボイス講座  
参加者に対し、選択方式と自由記述で実施  
設問数5問 回答数24
- (3) 認知症サポーター養成講座  
参加者に対し、選択方式と自由記述で実施  
設問数3問 回答数19
- (4) 将来に向けての備えを考える講座  
参加者に対し、選択方式と自由記述で実施  
(任意後見制度と死後事務委任契約) 設問数6 回答数7  
(遺言と相続について考えよう) 設問数6 回答数14

### (2) 利用者満足度把握の結果

- (1) 京都府警察ネット安心アドバイザーによる「スマホ安全教室」  
14名の参加者のうちラインの利用者13名、  
スマホ決済・ネットショッピング5名
- (2) スポーツボイス講座について  
今までにない声帯トレーニングということで熱心な受講態度
- (3) 認知症サポーター養成講座について  
あらためて認知症に対する認識を深められたとの意見あり
- (4) 将来に向けての備えを考える講座  
各参加者の個人の問題として受講されている。

### (3) 意見等への主な対応状況

- (1) 京都府警察ネット安心アドバイザーによる「スマホ安全教室」  
携帯電話機の操作上の注意点については、引き続き、講座などを通じて啓発が必要
- (2) スポーツボイス講座  
好評だったため、今年度も開催を依頼したい。
- (3) 認知症サポーター養成講座  
認知症の正しい理解の普及啓発に努めるため、今年度も開催する。
- (4) 将来に向けての備えを考える講座  
好評のため、同様のテーマで今年度も相談事業(ひだまりサロン等)として開催する。

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、筋トレボランティアによる「さわやか筋トレ」、下京区地域介護予防推進センターと連携した「脳いきいき健康クラブ」、「下京ほっこり教室」等を実施した。教養講座では、「スマホ使い方交流会」、「手芸講座」、「編物講座」、認知症の理解を深める「認知症あんしんセミナー」を実施した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市南老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数2回、延参加者数23名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数87回、延参加者数862名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（28同好会、実施回数514回、延参加者数6,197名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数49名）  
南区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数1,393名）
- (4) 教養講座（実施回数40回、延参加者数399名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業（実施回数3回、延参加者数121名）
- (6) 各種相談（相談件数5件）
- (7) 一般娯楽（実施回数503回、延参加者数6,189名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (8) 各種広報紙の発行（約1,000部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (9) その他
  - ・南区社協福祉協議会との合同防火避難訓練を実施
  - ・実習生の受入れ（看護専門学校実習生、区社協実習生）
  - ・京都市エコまちステーション拠点として、資源ごみ回収ボックスを常設及び臨時資源物回収の開催（年2回）

## 3 サービス提供状況

### 施設管理兼事業担当者

センター所長1名、契約職員1名

臨時職員2名（職員の代替職員として） 常時2名体制

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

14,228 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 10,044,283 |
| その他 | 134,011    |
| 収入計 | 10,178,294 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |           |
|-------|-----------|
| 人件費   | 7,391,660 |
| 事業費   | 2,144,346 |
| 委託費   | 407,304   |
| 小額修繕費 | 29,970    |
| その他   |           |
| 支出計   | 9,973,280 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度中の満足度調査は未実施

### (2) 利用者満足度把握の結果

### (3) 意見等への主な対応状況

## 7 評価(指定管理者自己評価)

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、南区地域介護予防推進センターと連携した「さわやか体操」、「はつらつ脳トレ」等を実施。南区健康づくりサポーターによる「みんなで元気体操」、その他講師による「シニアヨガ」や「いきいきサッソウ体操」等を実施した。近隣児童館と「いっしょにフォークダンス」や「いっしょに折り紙」を交流事業としてを開催した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市久世西老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|   |
|---|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時<br/>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）<br/>【管理業務】<br/>（1）窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>（2）施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>（3）消防設備定期点検<br/>（4）開所・閉所時の安全点検<br/>【サービス向上のための取組】<br/>（1）職員資質向上のための研修<br/>（2）老人福祉センター利用案内の作成<br/>（3）施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>（4）苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>（5）安全確保のための事故報告書等の事例共有<br/>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|---|

## 2 事業実施内容

|   |
|---|
| <p>（1）高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数6名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成<br/>（2）介護予防（実施回数317回、延参加者数4,097名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援<br/>（3）高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（30同好会、実施回数686回、延参加者数8,679名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数176名）<br/>南区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数1,305名）<br/>（4）教養講座（実施回数13回、延参加者数194名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応<br/>（5）地域交流事業<br/>多世代交流（実施回数18回、延参加者数207名）<br/>（6）生きいきサロン（実施回数44回、延参加者数220名）<br/>虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として<br/>実施し、レクリエーション等を行う。<br/>（7）各種相談（相談件数30件）<br/>（8）一般娯楽（実施回数567回、延参加者数5,015名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施<br/>（9）各種広報紙の発行（約1,400部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知<br/>（10）その他<br/>・合築施設火災避難訓練<br/>・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、京都保健衛生専門学校14名、<br/>京都中央看護保健大学校6名）</p> |
|---|

## 3 サービス提供状況

|  |
|--|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員1名 計3名</p> |
|--|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

25,632 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 13,259,656 |
| その他 | 122,172    |
| 収入計 | 13,381,828 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 9,436,236  |
| 事業費   | 2,921,618  |
| 委託費   | 700,587    |
| 小額修繕費 | 22,220     |
| その他   |            |
| 支出計   | 13,080,661 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度の満足度調査は未実施

### (2) 利用者満足度把握の結果

### (3) 意見等への主な対応状況

## 7 評価(指定管理者自己評価)

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

1種老人福祉センターでは、いきいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、健康づくりサポーターみなみ〜ずによる「健康体操」、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、南区地域介護予防推進センターとの連携で、「男性のための筋力アップ」や「のびのびストレッチ」、「大人のための頭塾」等を実施した。教養講座では、地域包括支援センター等との連携により「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症への理解を深めることができた。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市右京老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|  |
|--|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時</p> <p>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</p> <p>【管理業務】<br/>(1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>(2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>(3) 消防設備定期点検<br/>(4) 開所・閉所時の安全点検</p> <p>【サービス向上のための取組】<br/>(1) 職員資質向上のための研修<br/>(2) 老人福祉センター利用案内の作成<br/>(3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>(4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>(5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有</p> <p>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|--|

## 2 事業実施内容

|  |
|--|
| <p>(1) 高齢者支え合い活動入門講座<br/>未実施 ※右京中央老人福祉センターでの開催にあたり利用者へ周知・参加推奨した</p> <p>(2) 介護予防（実施回数139回、延参加者数3,102名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援</p> <p>(3) 高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（12同好会、実施回数335回、延参加者数3,313名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数22名）<br/>右京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数416名）</p> <p>(4) 教養講座（実施回数4回、延参加者数53名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応</p> <p>(5) 地域交流事業<br/>多世代交流（実施回数1回、延参加者数17名）</p> <p>(6) 各種相談（相談件数8件）</p> <p>(7) 一般娯楽（実施回数1,112回、延参加者数9,106名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施</p> <p>(8) 各種広報紙の発行（約460部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知</p> <p>(9) その他<br/>・シェイクアウト訓練で地震時の対応を確認<br/>・環境整備ボランティアによる環境整備を実施</p> |
|--|

## 3 サービス提供状況

|   |
|---|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、契約職員1名<br/>臨時職員2名（職員の代替職員として） 常時2名体制</p> |
|---|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

16,228 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |           |
|-----|-----------|
| 委託料 | 9,625,236 |
| その他 | 109,391   |
| 収入計 | 9,734,627 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |           |
|-------|-----------|
| 人件費   | 7,316,281 |
| 事業費   | 2,017,779 |
| 委託費   | 252,407   |
| 小額修繕費 | 149,917   |
| その他   |           |
| 支出計   | 9,736,384 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度中の満足度調査は未実施

### (2) 利用者満足度把握の結果

### (3) 意見等への主な対応状況

## 7 評価(指定管理者自己評価)

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、右京区地域介護予防推進センターと連携した「介護予防運動教室」、「ロコモ体操教室」等を実施。その他講師による健康「いきいきピアノ」や「健康ヨガ」等を実施した。教養講座では、「歴史講座」や「お薬講座(免疫力UP)」の講座等について開催した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市右京中央老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|  |
|--|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時</p> <p>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</p> <p>【管理業務】<br/>(1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>(2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>(3) 消防設備定期点検<br/>(4) 開所・閉所時の安全点検</p> <p>【サービス向上のための取組】<br/>(1) 職員資質向上のための研修<br/>(2) 老人福祉センター利用案内の作成<br/>(3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>(4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>(5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有</p> <p>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|--|

## 2 事業実施内容

|  |
|--|
| <p>(1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数24名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成</p> <p>(2) 介護予防（実施回数107回、延参加者数3,244名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援</p> <p>(3) 高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（36同好会、実施回数809回、延参加者数11,444名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数1,666名）<br/>右京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数1,370名）</p> <p>(4) 教養講座（実施回数37回、延参加者数573名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応</p> <p>(5) 地域交流事業 未実施</p> <p>(6) 生きいきサロン（実施回数33回、延参加者数449名）<br/>虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。</p> <p>(7) 各種相談（相談件数1件）</p> <p>(8) 一般娯楽（実施回数432回、延参加者数6,266名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施</p> <p>(9) 各種広報紙の発行（約1,100部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知</p> <p>(10) その他<br/>・合築施設合同消防避難訓練<br/>・実習生の受入れ（佛教大学看護学科27名、京都中央看護保健大学校8名、近畿高等看護専門学校4名）</p> |
|--|

## 3 サービス提供状況

|  |
|--|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員2名 計4名</p> |
|--|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

26,818 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位 : 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 13,259,656 |
| その他 | 214,882    |
| 収入計 | 13,474,538 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位 : 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 9,094,337  |
| 事業費   | 3,167,502  |
| 委託費   | 713,673    |
| 小額修繕費 | 89,870     |
| その他   |            |
| 支出計   | 13,065,382 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

参加している講座の満足度、意向及び意見等を知り、右京中央老人福祉センターの事業の充実を図るためアンケートを行った。

#### (1) 「女性だけの筋トレ」に関するアンケート

【方法】講座参加者に対して、選択方式と自由記述で実施

【設問数】3問、【回答数】20

#### (2) 「男性だけの筋トレ」に関するアンケート

【方法】講座参加者に対して、選択方式と自由記述で実施

【設問数】3問、【回答数】17

#### (3) 「栄養講座」に関するアンケート

【方法】講座参加者に対して、選択方式と自由記述で実施

【設問数】3問、【回答数】21

### (2) 利用者満足度把握の結果

#### (1) 「女性だけの筋トレ」に関するアンケートの結果

講座について 満足63.2%、どちらかというと満足36.8%

今後とも参加したいか 参加したい88.9%、どちらかというと参加したい11.1%

#### (2) 「男性だけの筋トレ」に関するアンケート

講座について 満足76.5%、どちらかというと満足23.5%

今後とも参加したいか 参加したい94.1%、どちらかというと参加したい5.9%

#### (3) 「栄養講座」に関するアンケート

講座について 満足85.7%、どちらかというと満足14.3%

今後とも参加したいか 参加したい95.2%、どちらかというと参加したい4.8%

### (3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果は、来年度の講座運営の参考とする。

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、右京区地域介護予防推進センターによる「ころぼん体操」「体力測定会」等を実施、その他講師による「音楽認知ケア」、「男性限定のメンズストレッチ」を開催した。教養講座では、関係機関との連携による「認知症サポーター養成講座」や、その他「たのしい手芸講座」、「なるほど！うずまさ学」等を開催した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市西京老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数8名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数336回、延参加者数3,699名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（45同好会、実施回数783回、延参加者数7,945名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数53名）  
西京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者451名）
- (4) 教養講座（実施回数7回、延参加者数109名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業（実施回数1回、延参加者数368名）
- (6) 生きいきサロン（実施回数43回、延参加者数459名）  
虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。
- (7) 各種相談（相談件数22件）
- (8) 一般娯楽（実施回数510回、延参加者数6,623名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (9) 各種広報紙の発行（約1,500部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (10) その他
  - ・合築施設の防災訓練
  - ・学習支援（約月1回）
  - ・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、京都保健衛生専門学校19名）
  - ・日常生活自立支援事業について、西京区社協から金庫及び通帳預かり業務を受託し協力

## 3 サービス提供状況

施設管理兼事業担当者

センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員2名 計4名

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

21,980 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 13,259,656 |
| その他 | 206,782    |
| 収入計 | 13,466,438 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 9,669,271  |
| 事業費   | 2,889,012  |
| 委託費   | 660,763    |
| 小額修繕費 | 35,420     |
| その他   |            |
| 支出計   | 13,254,466 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

- (1) すこやか講座「高齢者のお口のトラブルについて」(R4.5.12)  
【方法】参加者に対し、感想と「今後当講座で希望するテーマ」を記述形式で実施  
【設問数】2問、【回答数】15
- (2) すこやか講座「老化と痛みのお話」(R4.9.8)  
【方法】参加者に対し、感想と「今後当講座で希望するテーマ」を記述形式で実施  
【設問数】2問、【回答数】28
- (3) 健幸講座 ～カード式トレーニング～ (R4.9.21)  
【方法】参加者に対し、選択方式と記述形式で実施  
【設問数】6問、【回答数】13
- (4) 体験型講座「あなたの安全力チェック！」～交通事故から身を守ろう～(R4.9.30)  
【方法】参加者に対し、選択方式と記述形式で実施  
【設問数】3問、【回答数】28
- (5) 「認知症サポーター養成講座」(R4.10.29)  
【方法】感想を記述形式で実施  
【設問数】2問、【回答数】15
- (6) すこやか講座「高齢者の睡眠障害に関するお話」(R4.11.10)  
【方法】参加者に対し、感想と「今後講座で希望するテーマ」を記述形式で実施  
【設問数】2問、【回答数】21
- (7) 動画視聴講座「将来に向けての備えを考える講座」(R4.12.9)  
【方法】参加者に対し、選択形式と記述形式で実施。  
【設問数】2問、【回答数】①11 ②11
- (8) すこやか講座「認知症のお話」(R5.1.12)  
【方法】参加者に対し、感想と「今後講座で希望するテーマ」を記述形式で実施  
【設問数】2問、【回答数】19

## (2) 利用者満足度把握の結果

|   |
|---|
| <p>(1) すこやか講座「高齢者のお口のトラブルについて」アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「健康は健口から」このことが健康の基であることが知らしていただいたとき、丁寧な説明で大変勉強になった。との感想が多かった。</li></ul> <p>(2) すこやか講座「老化と痛みのお話」アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「“老化と痛み”についてお話を聞き、それなりに付き合っていくといけないとことが分かり気分が楽になった」、「現状維持に努めたい」、「時間が短かったので予防についてもう少し詳しくお話が聞きたかった」、「培養幹細胞治療など保険適用になるようにしてほしい」との感想があった。</li></ul> <p>(3) 健幸講座～カード式トレーニング～アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健康のためにはトレーニング（運動）は不可欠であるとの意識が高く、またこの講座を続けていきたいと多くの方が意欲をもっておられた。</li></ul> <p>(4) 体験型講座「あなたの安全力チェック！」～交通事故から身を守ろう～ アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者全員から参加してよかったとの感想があった。皆さん道路を歩く時には、常に車や自転車に気を付けている方が多く、合図横断を実践している。実践のきつかとしては、年齢と共に足が弱くなりとっさの行動ができなかったり、青信号でも止まらない車があったり、怖い思いをした経験から合図横断の必要性を感じて実践に至ったとのこと。</li></ul> <p>(5) 「認知症サポート養成講座」アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・認知症についての正しい知識が得られ、初期の見定め方や、接し方に参考になったなど受講してよかったとの感想が多かった。また、受講後は、そのような人にはサポートしてあげたい。</li></ul> <p>(6) すこやか講座「高齢者の睡眠障害に関するお話」アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・睡眠障害には日光に当たることや、運動することの大切さがよくわかった。また睡眠薬の効果等詳しく知ることができて良かった等好評をだした。・今まで飲んでいた睡眠薬の飲み方を考え直す機会を得た。</li></ul> <p>(7) 動画視聴講座「将来に向けての備えを考える講座」アンケート結果</p> <p>講座テーマ①遺言と相続について考えよう、②任意後見制度と死後事務委任契約について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・①②共に難しく1回では理解できないとの意見があった。また、講座形式ではなくて対面で質問等ができればよかった。</li></ul> <p>(8) すこやか講座「認知症のお話」アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・認知症のことはわかっているつもりでいたが、そんな自分が悲しく感じた。本日の先生のお話を聞いた事で認知症の意味が深く理解出来ました。・具体的に症状についてお話くださり、今後のたねになった。</li></ul> |
|---|

## (3) 意見等への主な対応状況

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート結果は、各共催団体と共有し、今後の講座のテーマを決める参考とする。</li><li>・アンケート意見を、実現出来る様調整し、令和5年度は、医師会による講座を年間4回から6回へ増設が叶った。又、アンケート結果により希望があった「栄養について」「带状疱疹について」「骨粗しょう症について」薬剤師会の「お薬に関するお話」を令和5年度の講座に盛り込む事が出来た。</li></ul> |
|---|

## 7 評価（指定管理者自己評価）

|  |
|--|
| <p>京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。</p> <p>収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。</p> <p>1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。</p> <p>知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。</p> <p>同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。</p> <p>事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。</p> <p>障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。</p> <p>介護予防の取組として、西京医師会による「すこやか講座」、西京区地域介護予防推進センターによる「パワーアップ筋トレ」「脳トレ教室」等、職員による「百歳体操」、「大人の塗り絵」「頭の体操・漢字おさらいのつどい」を実施した。また、教養講座では、関係機関との連携による「認知症サポーター養成講座」や西京警察署「安全力チェック」等を開催した。</p> |
|--|

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市洛西老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

【管理業務】

(1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）

(2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）

(3) 消防設備定期点検

(4) 開所・閉所時の安全点検

【サービス向上のための取組】

(1) 職員資質向上のための研修

(2) 老人福祉センター利用案内の作成

(3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化

(4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用

(5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

(1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数4回、延参加者数49名）

区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成

(2) 介護予防（実施回数355回、延参加者数5,568名）

健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援

(3) 高齢者自主活動支援

同好会活動の支援（74同好会、実施回数1,524回、延参加者数17,717名）

ボランティア活動への支援など（延参加者数2,339名）

西京区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数412名）

(4) 教養講座（実施回数21回、延参加者数257名）

生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応

(5) 地域交流事業

多世代交流（実施回数3回、延参加者数96名）

(6) 生きいきサロン（実施回数45回、延参加者数621名）

虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として

実施し、レクリエーション等を行う。

(7) 各種相談（相談件数6件）

(8) 一般娯楽（実施回数358回、延参加者数3,787名）

いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施

(9) 各種広報紙の発行（約1,700部/月）

施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知

(10) その他

・消防避難訓練

・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、京都中央看護保健大学校3名）

・地域団体作品展示

・アルミ缶・プルトップ収集協力

## 3 サービス提供状況

施設管理兼事業担当者

センター所長1名、嘱託職員1名、契約職員1名 計3名

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

36,333 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 28,291,327 |
| その他 | 175,444    |
| 収入計 | 28,466,771 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 10,837,198 |
| 事業費   | 18,607,333 |
| 委託費   | 394,396    |
| 小額修繕費 |            |
| その他   |            |
| 支出計   | 29,838,927 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

|   |
|---|
| <p>(1) 「やさしい筋トレ」参加者アンケート<br/>参加者の感想・要望等を聞き取り、今後の事業運営の参考にするために実施した。<br/>【方法】年度末に参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。<br/>【設問数】7問<br/>【回答数】56</p> <p>(2) 「健康講座」参加者アンケート<br/>年間4回実施。各回のテーマ ①認知症 ②口腔ケア ③循環器 ④眼科<br/>参加者の参加動機と感想・要望等を聞き取り、今後の事業運営の参考にするために実施した。<br/>【方法】講座終了後に参加者に対し、自由記述方式で実施。<br/>【設問数】自由記述のみ1問<br/>【回答数】①22 ②12 ③22 ④18</p> |
|---|

### (2) 利用者満足度把握の結果

|   |
|---|
| <p>(1) 「やさしい筋トレ」参加者アンケートの結果 (複数選択可の項目があるので、すべて人数)</p> <p>○参加について ・初めて 10 ・初めてではない 45</p> <p>○参加して役立ったこと ・筋力が鍛えられた 31 ・体調がよくなった 36<br/>・方法の理解 49 ・交流が楽しい 24 ・その他 8</p> <p>○よかったメニュー ・筋トレ 42 ・ストレッチ 31 ・脳トレ 19</p> <p>○きつき ・ちょうどよい 30 ・物足りない 9 ・無回答17</p> <p>○自宅での実施 ・週1~2回 19 ・月1~2回 5 ・時々 8 ・していない 4</p> <p>○実施時間 ・ちょうどよい 24 ・もっと長く 14 ・無回答 18</p> <p>○自由記述 ・わかりやすく教えていただき感謝している。楽しい。<br/>役に立つ等の感想がほとんど。<br/>・もう少し時間が長くなればという意見が若干あった。</p> <p>(2) 「健康講座」参加者アンケートの結果 (主な内容のみ記載)</p> <p>①認知症 ・認知症について理解が深まった。<br/>・自分自身がどのように対応や予防をしたらいいのか、参考になった。</p> <p>②口腔ケア ・唾液を出すことの大切さがわかった。<br/>・水分補給や食べることの大切さがわかった。</p> <p>③循環器 ・マグネシウムの大切さがわかった。<br/>・食べ物によって、血圧や心臓等の臓器に影響があることがわかった。</p> <p>④眼科 ・眼を大切に保つことの大切さがわかった。<br/>・眼についての関心を持つことができた。</p> |
|---|

### (3) 意見等への主な対応状況

|   |
|---|
| <p>(1) アンケートの結果は筋トレ西ネットと共有し、次年度の事業の参考とする。</p> <p>(2) アンケートの結果は西京医師会と共有し、次年度の事業の参考とする。</p> |
|---|

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、筋トレ西ネットによる「やさしい筋トレ」、西京医師会による「健康講座」、西京区地域介護予防推進センターと連携した「簡単エアロエクササイズ」「リラックスストレッチ」「楽しく脳トレ」等を実施。その他講師による「レッツレクダンス」、「健康セミナー」を実施した。教養講座では、西京消防署との連携で「普通救命講習会」や関係機関との連携による「認知症サポーター養成講座」を開催した。また、近隣幼稚園や児童館との交流として「クリスマス会」等も実施した。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市伏見老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

### 【開所日及び開所時間等】

月～土 午前9時～午後5時

### 【閉所日】

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 【管理業務】

- (1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）
- (2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）
- (3) 消防設備定期点検
- (4) 開所・閉所時の安全点検

### 【サービス向上のための取組】

- (1) 職員資質向上のための研修
- (2) 老人福祉センター利用案内の作成
- (3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化
- (4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用
- (5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。

## 2 事業実施内容

- (1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数13名）  
区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成
- (2) 介護予防（実施回数259回、延参加者数4,589名）  
健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援
- (3) 高齢者自主活動支援  
同好会活動の支援（38同好会、実施回数858回、延参加者数13,939名）  
ボランティア活動への支援など（延参加者数10名）  
伏見区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数831名）
- (4) 教養講座（実施回数77回、延参加者数1,076名）  
生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応
- (5) 地域交流事業 未実施
- (6) 生きいきサロン（実施回数44回、延参加者数508名）  
虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。
- (7) 各種相談（相談件数78件）
- (8) 一般娯楽（実施回数72回、延参加者数1,430名）  
いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施
- (9) 各種広報紙の発行（約1,200部/月）  
施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知
- (10) その他
  - ・消火訓練、シェイクアウト訓練
  - ・伏見警察署による高齢者の交通事故防止の啓発活動への協力（年3回）
  - ・実習生の受入れ（京都保健衛生専門学校14名、京都中央看護保健大学3名）

## 3 サービス提供状況

施設管理兼事業担当者

センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員1名 計3名

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。

一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 施設利用者数 (延べ人数)

23,912 人

(2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 293日)

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況 (単位: 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 12,892,991 |
| その他 | 172,552    |
| 収入計 | 13,065,543 |

イ 令和4年度支出状況 (単位: 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 9,670,484  |
| 事業費   | 3,001,807  |
| 委託費   | 67,166     |
| 小額修繕費 | 160,600    |
| その他   |            |
| 支出計   | 12,900,057 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度中の満足度調査は未実施

(2) 利用者満足度把握の結果

(3) 意見等への主な対応状況

## 7 評価(指定管理者自己評価)

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取り入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、生きいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、伏見区地域介護予防推進センターと連携した「ファイン体操教室」や「みんなのヘルスケア講座」を実施。その他、職員による「ココから体操」を実施した。教養講座では、利用者からのニーズが高いテーマを取り上げ、「スマホ初心者講座」や「エコクラフト講座」等を開催。「スマホ講座」受講修了者の一部を対象にスマホコンシェルジュを育成し、伏見区社会福祉協議会と連携し、地域の高齢ボランティアの育成支援に努めた。

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（老人福祉センター）

センター名 京都市醍醐老人福祉センター

## 1 施設の管理運営

|  |
|--|
| <p>【開所日及び開所時間等】<br/>月～土 午前9時～午後5時</p> <p>【閉所日】<br/>日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</p> <p>【管理業務】<br/>(1) 窓口業務（新規利用者に対する利用案内、事業紹介、各種事業の受付等）<br/>(2) 施設の維持管理（館内清掃、開館業務、遺失物・拾得物の管理）<br/>(3) 消防設備定期点検<br/>(4) 開所・閉所時の安全点検</p> <p>【サービス向上のための取組】<br/>(1) 職員資質向上のための研修<br/>(2) 老人福祉センター利用案内の作成<br/>(3) 施設・備品の団体利用についての規則を明確化<br/>(4) 苦情解決体制の整備と苦情事例の活用<br/>(5) 安全確保のための事故報告書等の事例共有</p> <p>（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容<br/>京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕をめざす。</p> |
|--|

## 2 事業実施内容

|   |
|---|
| <p>(1) 高齢者支え合い活動入門講座（実施回数1回、延参加者数21名）<br/>区社会福祉協議会と連携して、生活支援サービスの担い手となる高齢者を養成</p> <p>(2) 介護予防（実施回数240回、延参加者数4,640名）<br/>健康づくり・介護予防のための実践的講座を開催し、参加者の主体的継続的活動を支援</p> <p>(3) 高齢者自主活動支援<br/>同好会活動の支援（44同好会、実施回数960回、延参加者数18,050名）<br/>ボランティア活動への支援など（延参加者数134名）<br/>伏見区老人クラブ連合会等への支援（延参加者数204名）</p> <p>(4) 教養講座（実施回数77回、延参加者数874名）<br/>生活に役立つ講座などを単発的に実施し、多様化するニーズに対応</p> <p>(5) 地域交流事業（実施回数2回、延参加者数50名）</p> <p>(6) 生きいきサロン（実施回数44回、延参加者数739名）<br/>虚弱な高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に居場所や仲間づくりの場として実施し、レクリエーション等を行う。</p> <p>(7) 各種相談（相談件数13件）</p> <p>(8) 一般娯楽（実施回数225回、延参加者数5,402名）<br/>いつでも誰でも参加できるつどい（囲碁・将棋など）を実施</p> <p>(9) 各種広報紙の発行（約1,500部/月）<br/>施設の毎月の事業案内と関係機関への事業周知</p> <p>(10) その他<br/>・合築施設合同消防避難訓練<br/>・就労支援利用者の受入れ<br/>・実習生の受入れ（京都府医師会看護専門学校12名、佛教大学27名、京都中央看護保健大学3名）</p> |
|---|

## 3 サービス提供状況

|  |
|--|
| <p>施設管理兼事業担当者<br/>センター所長1名、嘱託職員1名、臨時職員1名 計3名</p> |
|--|

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

|  |
|--|
| <p>本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としている。<br/>一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っている。</p> |
|--|

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 施設利用者数 (延べ人数)

36,005 人

### (2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数 : 293日)

### (3) 収支実績

#### ア 令和4年度収入状況 (単位 : 円)

|     |            |
|-----|------------|
| 委託料 | 17,123,653 |
| その他 | 233,193    |
| 収入計 | 17,356,846 |

#### イ 令和4年度支出状況 (単位 : 円)

|       |            |
|-------|------------|
| 人件費   | 10,246,215 |
| 事業費   | 3,127,168  |
| 委託費   | 3,564,908  |
| 小額修繕費 | 272,580    |
| その他   |            |
| 支出計   | 17,210,871 |

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

(1) ごみの行方講座アンケート・・・講座テーマ等についての質問や意見

【方法】講座参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】2問

【回答数】6

(2) 認知症サポーター養成講座アンケート・・・講座テーマ等についての感想

【方法】講座参加者に対し、選択方式と自由記述で実施。

【設問数】3問

【回答数】17

### (2) 利用者満足度把握の結果

(1) ごみの行方講座アンケートの結果

講座の内容について : よく内容がわかった50% まあまあ分かった17% わからなかった0% 無回答33%

今後の講座について (主な意見) : 皆がゴミ分別について関心を持ってほしい。また参加したい。

(2) 認知症サポーター養成講座アンケート結果について

性別 : 男性6% 女性94%

年齢 : 60代6% 70代94%

主な感想 : 認知症の方を見かけたら自尊心を傷つけず優しく手助けしたい。よい勉強をさせていただきました。認知症の妹への態度を反省しました。

### (3) 意見等への主な対応状況

(1) アンケート結果は醍醐支所エコまちステーションと共有し今後の講座の参考にした。

(2) アンケート結果は醍醐地域包括支援センターと共有し今後の講座の参考にした。

## 7 評価（指定管理者自己評価）

京都市社会福祉協議会が運営する16箇所の老人福祉センターでは、京都市長寿すこやかセンター、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、児童館を運営しているという本会の特性と市・区・学区社協のネットワークを活かし、法人内連携を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症による利用制限がある中、気軽に参加できるプログラムなどを取入れたことで、新規利用者の増加につながった。介護予防事業他、多くの事業の参加者が前年度と比較し増加し、年間利用者総数も前年度と比較して増加した。

収支状況では、施設の経年劣化により修繕費が増加する要因もあるが、支出全体の抑制に努めた。

1種老人福祉センターでは、いきいきサロン事業において職員が培ったレクリエーション等の知識や道具を地域の健康すこやか学級等で役立ててもらえるよう、レクリエーション実践集として平成24年度に続いて平成26年度にパート2、平成28年度にパート3、平成30年度にパート4、令和2年度のパート5発行、令和3年度はパート6を一部紹介として長寿すこやかセンターホームページへの掲載を行った。

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして、老人福祉センターで活動する同好会へ登録を呼びかけるとともに、高齢者が積極的に地域や福祉施設で活動できるよう支援し、地域福祉活動の推進を図った。

同好会世話人会等、事業運営に参画できる協議の場を設け、また「ご意見箱」を設置し利用者の声を事業運営及びサービスの改善・向上に活かした。

事業・業務の評価については、平成21年度より『老人福祉センター事業・業務評価マニュアル』の評価シートに基づき、事業・施設環境・職員力について、定期的に職員自身が評価して事業・業務の改善を図った。

障害を理由とした差別の解消に向け、職員会議等により理解を深めた。

介護予防の取組として、いきいき筋トレボランティアによる「筋トレ」、深草・醍醐地域介護予防推進センターと連携した「認知症予防教室」や「栄養教室」等を実施。その他、講師による「寝たままリンパヨガ」、「ストレッチ体操」や、職員による「脳活サロン」、「てづくりサロン」を実施した。